

関西圏域の展望研究の進め方（案）

1 研究の趣旨

次期近畿圏広域地方計画（素案）の策定を視野に入れ、国土交通省の新たな「国土のグランドデザイン」（骨子）に対する関西広域連合の意見【参考1】を踏まえ、関西圏域の展望研究を行い、国土形成計画（全国計画）【参考2】を見直す際の国と地方の議論に活用する。

（研究の背景）

① 国の事務・権限の移譲

平成26年度以降、①国出先機関の地方移管の継続的要請に加え、その突破口を開く取組の一つとして、②近畿圏広域地方計画の策定権限の移譲、③策定権限の移譲が実現するまでの当分の間、実績を示すための近畿圏広域地方計画策定への参画等を国へ提案

② 次期近畿圏広域地方計画（素案）の策定

策定権限の移譲が実現するまでの取組として、産官学の検討会を立ち上げ、次期近畿圏広域地方計画の基となる素案の策定を目指す

2 研究の進め方

関西圏域の今後を展望し、政策コンセプトをまとめる「関西圏域の展望研究会（仮称）」を設置。

3 想定スケジュール

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	展望研究			素案策定	計画改訂
次年度の取組の検討	連合委員会	連合委員会等	連合委員会等		
国等への提案	連合委員会	連合委員会等	連合委員会等		
基本推計・シナリオ	連合委員会	連合委員会等	連合委員会等		
理念・政策コンセプト		研究会	研究会		
報告書とりまとめ					
次期近畿圏広域地方計画（素案）				産官学検討会	
次期近畿圏広域地方計画					協議会
（参考）新たな「国土のグランドデザイン」の策定					
グランドデザイン策定					
関連計画の改訂			?		

(参考) 研究課題

テーマ例	主な研究内容イメージ
人口減少社会における関西圏域の持続可能な地域構造のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・人を引きつける魅力ある地域構造と人々の活動のあり方 (世代別居住者、住み替え(二地域居住を含む)、職業(テレワークを含む)、趣味や生きがい活動、まちのテーマ(農業等)といったイメージの具体化等) ※多自然居住地域、拠点都市、大都市など、カテゴリーごとに整理 ・地域活性化の取組への支援策と取組をつなぐしくみのあり方
関西全体で支えあうしくみのあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティの再構築のあり方 (安全・安心・生活支援・共助サービス、テーマ性を持った交流施設、移動を支える地域内交通ネットワーク、社会資本・空間管理、災害時の行動訓練や環境運動、健康づくり等の具体化と戦略的実現方策(CB活用)等) ・女性、若者、高齢者、障がい者、それぞれが支え合うしくみのあり方 (働きながら子育てする関西の打ち出しとインセンティブのしくみ等)
人が集い、人を引きつける関西経済のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ・人が集い、人を引きつける魅力ある拠点の形成 (健康・医療等の特区及び研究開発拠点・大学等のクラスター並びに各地域資源(歴史遺産、文化、農業等)等を核としたネットワーク型拠点の形成、起爆剤となる拠点の創出、これらを総合したリーディング産業の創出等) ・拠点性を生み出すインセンティブのあり方 (ミッシングリンクの解消やリダンダンシー確保に配慮した高速交通網の整備、リエア整備による圏域間の連携・分担、人材育成・確保(圏域内交通や情報通信など魅力あるソフト基盤の構築)、産業の成長を補完する行政の役割等)